



# 株式投資 ウインターセミナー 2025年12月6日

## フルハシEPO株式会社

東証スタンダード市場・名証メイン市場

証券コード:9221

Create Sustainability for Our Future



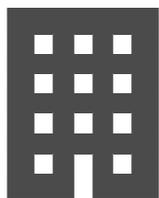


# 1. 会社概要 会社概要



社名	フルハシEPO株式会社 (FULUHASHI EPO CORPORATION)
本社	名古屋市中区金山一丁目13番13号
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● バイオマテリアル事業(木質廃棄物の再資源化)</li><li>● 資源循環事業(建設副産物の再資源化)</li></ul>

## 設立



1948年2月

## 資本金



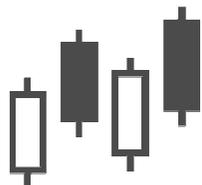
15億781万円

## 従業員数



483名  
(連結:2025年9月30日)

## 時価総額



約137億円  
(2025年12月1日)

## 上場市場

東京証券取引所   スタンダード市場  
名古屋証券取引所   メイン市場  
証券取引コード   9221

## 関係会社



連結子会社                   5社  
持分法適用関連会社   2社

## 経営理念

世のため 人のため  
地球のため 社員のため  
持続可能な社会を  
創造します



## サステナビリティの推進

# 1. 会社概要 事業構成



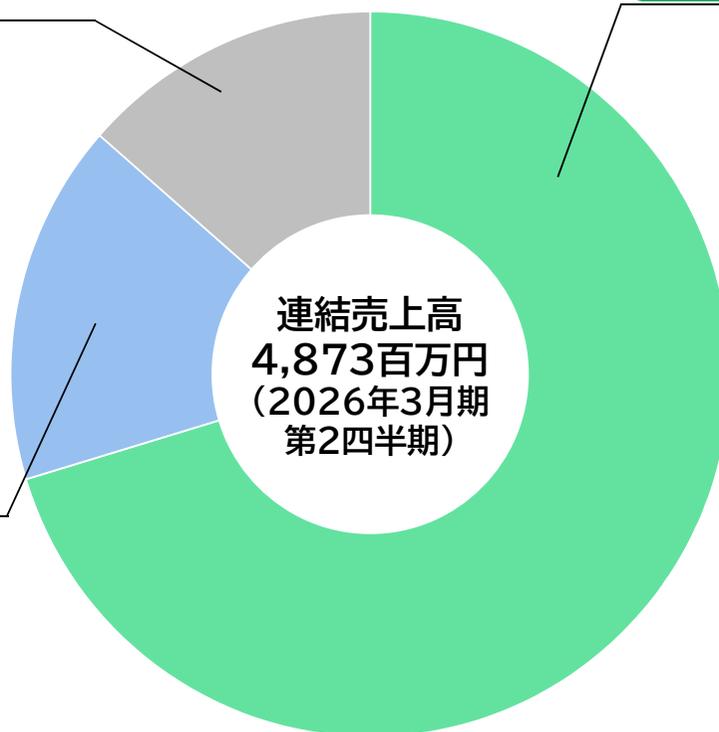
## バイオマテリアル事業、資源循環事業を柱に、サーキュラーエコノミーの実現に貢献

10.7% その他事業

- 木製パレット等の物流機器の製造・仕入・販売
- 中古物流機器の買取・販売
- 環境コンサルティングサービス
- 施設・交通警備
- 人材派遣・紹介サービス 等

16.8% 資源循環事業

- 住宅建設現場等から排出される各種建設副産物の再資源化処理



バイオマテリアル事業 72.5%

- 木質廃棄物の再資源化処理
- 木材チップ販売

(注)各セグメントの外部顧客への売上高を連結売上高で除して売上高割合を計算しております。

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All rights reserved.

## 2. 事業と3つの強み

# 3つの強み



### ①バイオマテリアル 事業の ダブルインカム

連結売上総利益率  
(2026年3月期第2四半期)

**43.7%**

上場同業11社平均(2025年3月期)  
(当社を除く)

**30.8%**

### ②木質再資源化業界 唯一の上場企業

国内最大級のサービスエリア

工場

**22**ヶ所

営業所等

**11**ヶ所

### ③自ら市場を創造 ～木質資源からエネルギー～



川崎バイオマス発電所  
(神奈川県川崎市)



CEPO半田バイオマス発電所  
(愛知県半田市)

## 2. 事業と3つの強み

# ① バイオマテリアル事業のダブルインカム



## 仕入のないダブルインカムのビジネスモデルで高い利益率を実現



2. 事業と3つの強み

## ②木質再資源化業界 唯一の上場企業



### 国内最大級のサービスエリアを展開



## 2. 事業と3つの強み

# ③自ら市場を創造する



## バイオマス発電事業へ参画し、木質資源からエネルギーの創出を実現

### 再生可能エネルギーの創出

#### 川崎バイオマス発電所(2011年2月稼働)

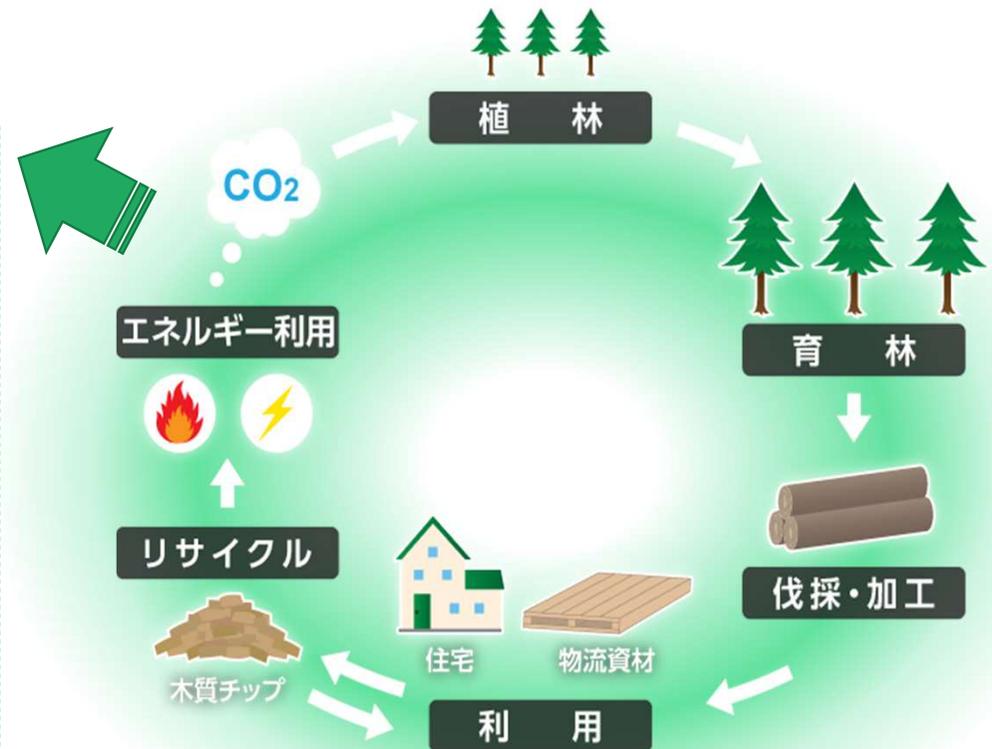


- 共同出資:住友共同電力(株)、住友林業(株)  
関連会社(株)ジャパンバイオエナジーより  
燃料供給
- ・発電出力 約33,000kW(発電端)
  - ・CO2排出削減量 年間約12万トン

#### CEPO半田バイオマス発電所(2019年10月稼働)



- 共同出資:(株)シーエナジー<中部電力グループ>  
当社愛知第七工場(半田)より燃料供給
- ・発電出力 約50,000kW(発電端)
  - ・CO2排出削減量 年間約15万トン



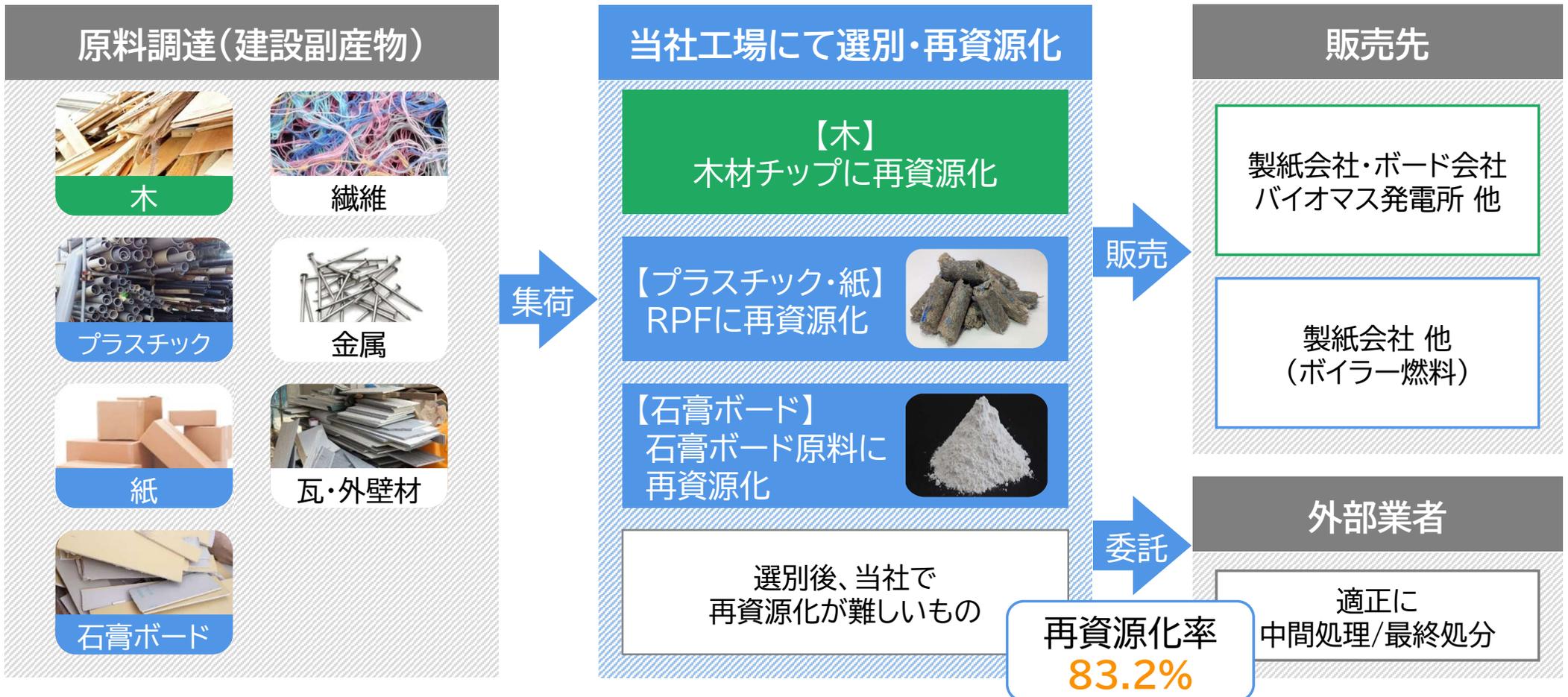
### 循環経済の加速

木質バイオマスの再資源・エネルギー化に向け、  
**量的拡大**を推進

## 2. 事業と3つの強み 資源循環事業



### 建設副産物の再資源化でサーキュラーエコノミー社会の実現に貢献



## 売上高・営業利益とも過去最高を更新

売上高

4,873百万円

〈前年同期比〉

8.8%増

営業利益

504百万円

〈前年同期比〉

13.6%増

親会社株主に帰属する  
中間純利益

368百万円

〈前年同期比〉

17.2%減

中間配当金

9月末日を基準日とする配当金は

1株当たり15円

とさせていただきます。

年間配当:30円

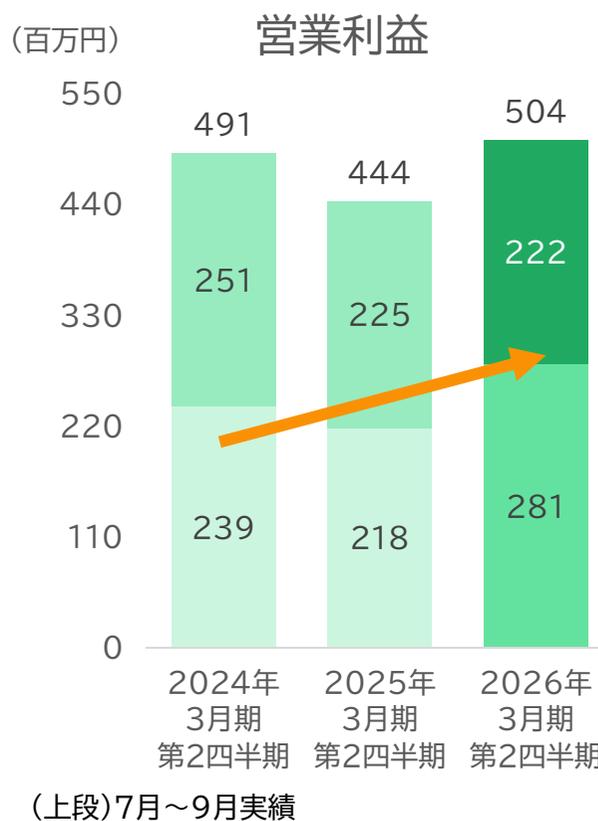
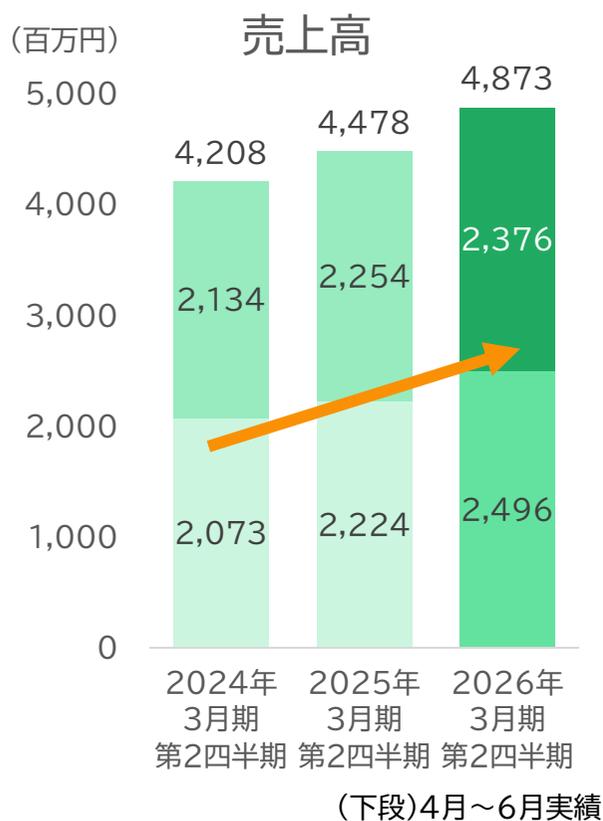
と予想しています。

(注)2025年3月期 第2四半期決算は、営業外収益に保険解約返戻金194百万円を計上しております。

# 2026年3月期 第2四半期 決算ハイライト



## 増収増益。通期予想に対し、堅調に進捗

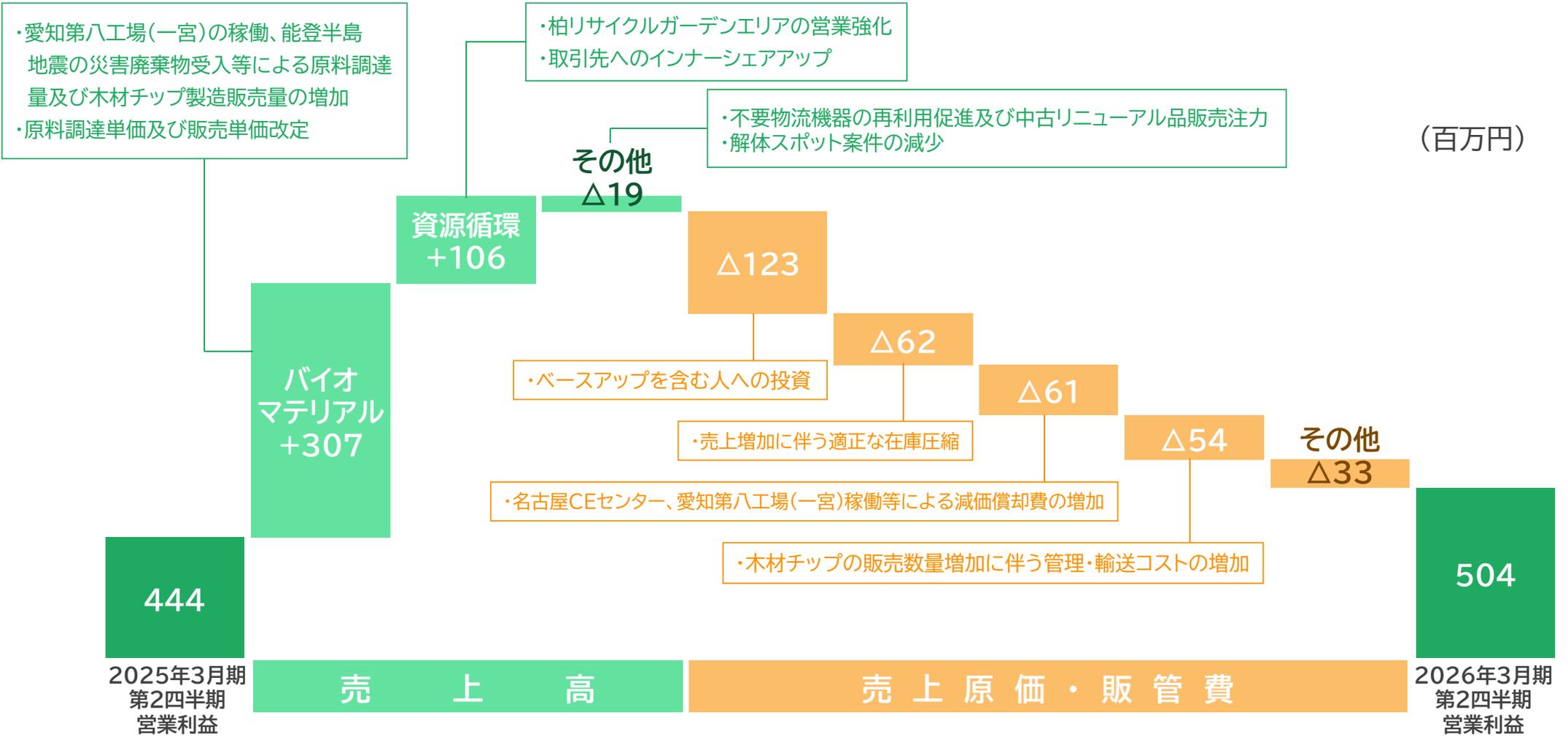


3. 2026年3月期 第2四半期決算業績

# 営業利益増減要因分析(前年同期比)



(百万円)



#### 4. 2026年3月期 業績予想 通期業績予想



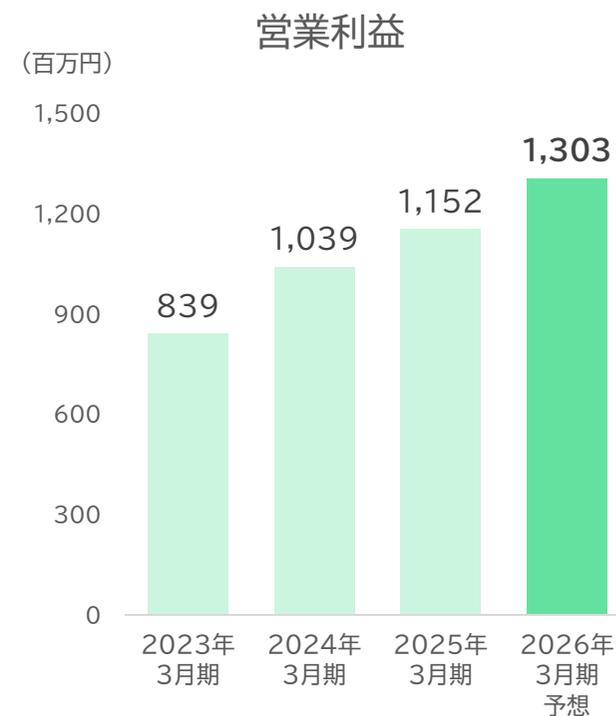
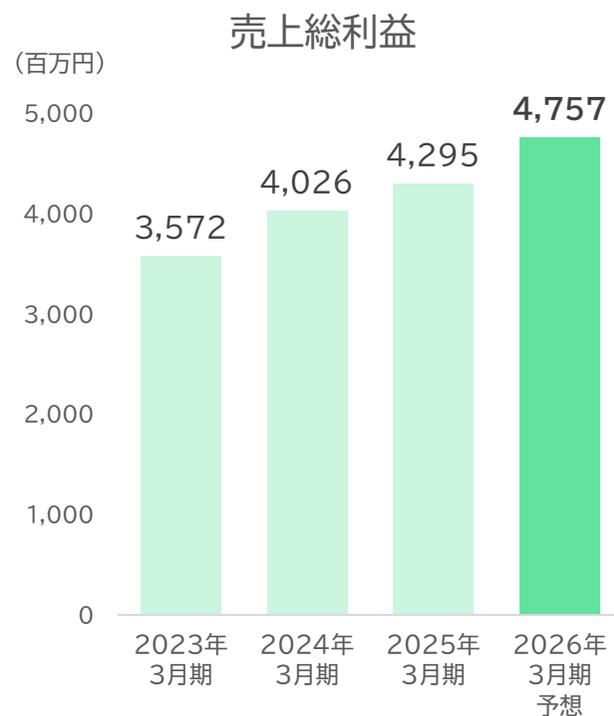
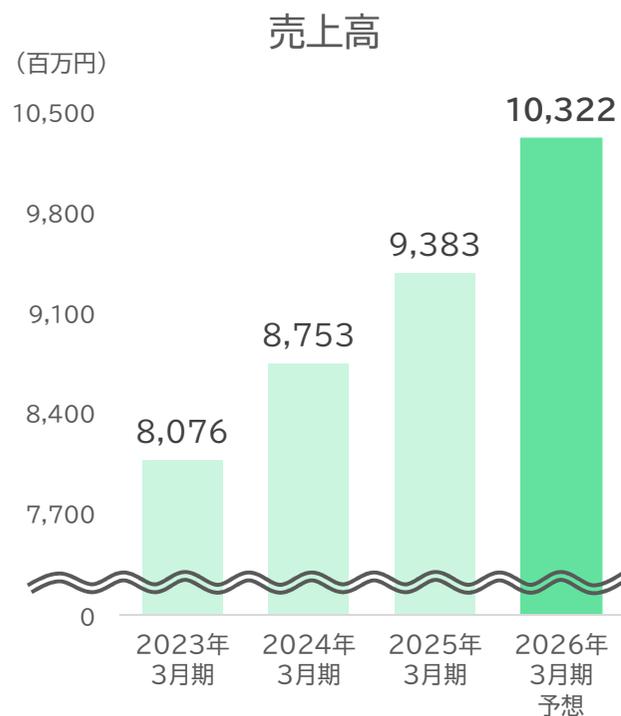
### 売上高、売上総利益、営業利益は過去最高を更新予定

(百万円)

	2025年 3月期	2026年3月期			2026年3月期 第2四半期	
	実績	業績予想	増減額	増減率	実績	進捗率
売上高	9,383	10,322	938	+10.0%	4,873	47.2%
売上総利益	4,295	4,757	462	+10.8%	2,130	44.8%
営業利益	1,152	1,303	150	+13.1%	504	38.7%
経常利益	1,432	1,335	△97	△6.8%	498	37.3%
親会社株主に 帰属する 当期(中間)純利益	1,033	905	△127	△12.4%	368	40.7%

## 2026年3月期についても

### 売上高、売上総利益、営業利益は増収増益の業績予想



5. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元)

# Fuluhashi Sustainable Plan 80<sup>th</sup>(2024年5月~2029年3月)



2024年5月、設立80周年となる2028年3月期を最終年度とする4ヶ年の中期経営計画を策定

	目標設定時	成長準備	成長投資		成長加速
		・基盤強化(組織変更、 本社・事業再編等)	・許認可取得可能な用地選定 (12ヶ所進行中)		・工場新設及びM&A活用等 ・更なる収益性と生産性の向上
	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 第2四半期(実績)	2026年3月期 (計画)	2027年 3月期
					2028年3月期 (計画)
売上高	87.5億円	93.8億円	48.7億円	103.2億円	150億円
営業利益	10.3億円	11.5億円	5.0億円	13.0億円	30億円
営業利益率	11.9%	12.3%	10.4%	12.6%	20%
ROE	5.2%	19.5%	—	15.3%	15%超
配当性向	116.0%	31.9%	—	38.4%	35%目標

方針

- 木質資源を軸にしたサーキュラーエコノミー・再生可能エネルギー時代の牽引
- 増収・増益・増配・従業員還元のサステナビリティ企業へ

戦略

- 事業戦略(量的拡大)による増収・増益
- サステナビリティ戦略(ESG等)による企業価値向上
- 累進配当を基本方針とした株主還元

(注)M&A要素は含んでおりません。(注)処理・販売価格の変動要素は含んでおりません。

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All rights reserved.

## 中期経営計画の進捗概要

2025年3月期は体制整備・用地選定に注力、2026年3月期は成長投資による成長加速に努める

### 事業戦略(量的拡大) 進捗トピックス

- 愛知第八工場(一宮)稼働(2024年10月)
- 名古屋CEセンター稼働(2025年9月)

### サステナビリティ戦略 進捗トピックス

- 組織変更として、経営戦略本部、事業開発部門、サステナビリティ推進部門等を設置(2024年4月)
- グループ内事業再編(重複事業の整理及び組織強化)
- 能登半島地震の災害廃棄物の受入支援開始(2025年1月)
- 監査等委員会設置会社への移行(2025年6月)
- 取締役会の実効性評価結果の開示(2025年6月)

### 株主還元 進捗トピックス

- 一株当たり配当金2025年3月期 28円に対し、2026年3月期 30円(予想)と増配・累進方針
- 2026年3月期末を基準とした株主優待制度を導入



名古屋CEセンター(9月稼働)



能登半島地震の災害廃棄物

## 中期経営計画の進捗状況(量的拡大)

木質再資源化の量的拡大を着実に実行し、最終年度での目標達成を目指します  
具体化した案件から順次開示することとし、12ヶ所の工場新設が進行しています

量的拡大の状況(2024年5月～2025年12月)

目標		完成	進行中	計画中
中日本 エリア	16ヶ所	2ヶ所 ●愛知第八工場(一宮) (2024年10月稼働) ●名古屋CEセンター (2025年9月稼働)	6ヶ所 ●名古屋鳴海CEパーク (2026年上期稼働予定) ●他、5ヶ所	2ヶ所
東日本 エリア			6ヶ所	
合計	16ヶ所	2ヶ所	12ヶ所	2ヶ所

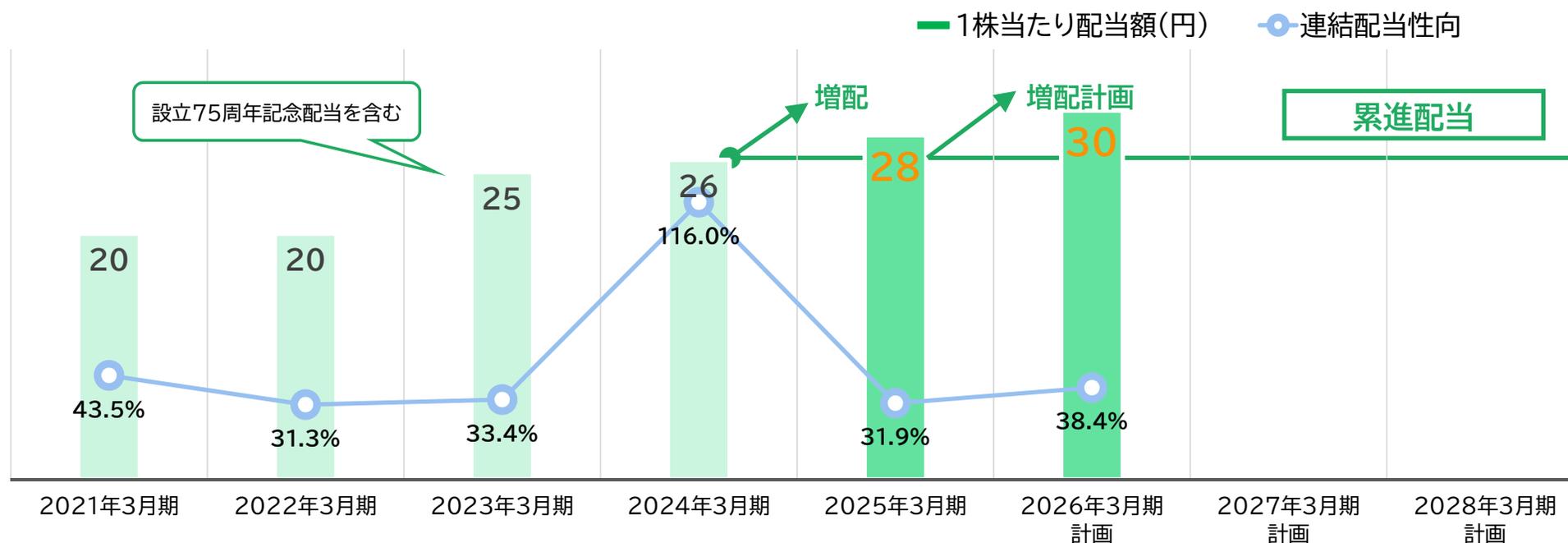
【補足】 中日本エリアには、近畿地方、中国地方を含みます。

## 5. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元)

# 中期経営計画の進捗状況(株主還元)



- 株主還元拡大のために、
  1. 原資である利益の確保
  2. 事業成長及びサステナビリティ関係の適切な投資
  3. 健全な財務体質の確保
- 現中計期間(2025年3月期～2028年3月期)は累進配当を基本とします
- 成長投資も継続しつつ、将来的な連結配当性向は35%程度を目指します



【補足】 2023年4月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。  
上記グラフでは2023年4月1日以前においても株式分割の効力を加味して1株当たりの配当金を再計算しております。

## 5. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元) 株主優待制度の導入



新たな利益還元策として2026年3月末日を初回基準日とした株主優待制度を導入します

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝の気持ちを込めて、  
年間で **合計10,000円分** のデジタルギフト®を進呈します

基準日	毎年3月末日	毎年9月末日
条件	株式200株(2单元)以上保有	株式200株(2单元)以上保有
内容	デジタルギフト® 5,000円分を進呈	デジタルギフト® 5,000円分を進呈



※イメージ画面

※権利確定日から3ヶ月以内を目途に発送を予定しております。

※デジタルギフト®は、株式会社デジタルプラスの登録商標であります。

※デジタルギフト®の対象となる交換先は、AmazonギフトカードやPayPayマネーライト等を予定しております。交換先は今後変更の可能性がございます。

## 6. トピックス 名古屋CEセンター





- ポイント①:トップメッセージ

経営戦略や資本コスト、株価を意識した経営の実現に向けた対応について掲載

- ポイント②:中期経営計画

中期経営計画の進捗状況について、定量目標・量的拡大・サステナビリティの観点から報告

- ポイント③:社外取締役メッセージ

コーポレート・ガバナンスや企業価値の向上に向け、多様な専門性と経験を持つ社外取締役が果たす役割についてメッセージ形式で掲載

統合報告書の閲覧はこちらから→



## 本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】  
フルハシEPO株式会社 総務部  
Mail:9221epo-ir@fuluhashi.co.jp